

人と人をむすぶ、
人と世界をむすぶ

Contents

- ① 特集 2022年度次世代人材育成事業
「多文化共生×SDGs×開発教育」連続セミナー報告
- ④ SIA NEWS
 - ① 第4回国際交流・協カライブチャンネルを開催
 - ② 国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう part 2
「平和って、なんだろう？ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」を開催
 - ◎ 新JICA滋賀デスク紹介
- ⑤ 今、この人にInterview
「Health(健康)はWealth(財産)！」
英語で楽しく教えるフィットネスインストラクター マーク ミラーさん
- ⑥ おしえて世界のこと (日本ではあまり想像できない)
現地ならではのハブニングはありますか？
- ⑦ SIAメンバーズ



公益財団法人 滋賀県国際協会

Shiga Intercultural Association for Globalization

〒520-0801 滋賀県大津市におの浜1丁目1-20 ピアザ淡海2階

TEL.077-526-0931 FAX.077-510-0601

E-mail: info@s-i-a.or.jp URL: https://www.s-i-a.or.jp

特集

2022年度次世代人材育成事業

「多文化共生×
SDGs×開発教育」
連続セミナー報告

当協会は、今年度から初めて、世界と自分とのつながりや私たちが暮らす地域について再認識することで、持続可能な社会づくりや地域の活性化に向けて、実際に行動できる人材の育成をめざす連続セミナーを開催しました。

次世代を担う若者たちが、何に気づき、どう感じたのか、そして、これからどのように行動しようと考えたのかについて紹介します。

参加者について

- 県内の高校生、大学生、教員、会社員など20人の若者が受講(うち、19人が修了)。受講生の中には、海外ボランティア経験者(ブラジル・エクアドル)、中国出身者もおられました。
- 滋賀県国際交流員(カナダ・ブラジル出身)、県内の留学生(中国・マレーシア出身)、外国にルーツを持つ社会人(中国・ブラジル)の8人がサポーターとして協力くださいました。

この事業は、一般財団法人自治体国際化協会の助成により実施しました。



▲日本ラチーノ学院にて



▲モスク アンヌール能登川にて

今回、全5回の連続セミナーを実施し、最後に自分たちが考えたアクションプランについて発表会を開催しました。各回参加者から寄せられた感想の一部を紹介します。新たな発見と気づきの連続だったことがわかります。

第1回

ピアザ淡海(大津市)

7月17日(日)

参加者同士の新たな出会い

オリエンテーション

在住外国人の状況についての説明

開発教育についてミニ講義

「世界がもし100人の村だったら」ワークショップ体験など

感想 ●今回の研修では、正解がない、自由に発言できるという点で参加者の個性がそれぞれ出やすく勉強になります。幅広い方が参加されているからこそ、いろんな意見があって面白かったです。



第2回

日本ラチーノ学院(東近江市)

8月4日(木)

ブラジル人学校の生徒との出会い

「貿易ゲーム アレンジ版」体験

ポルトガル語版のルールのみを使って、参加者が言語的マイノリティの立場を体感した。

感想 ●ラチーノ学院の生徒さんとの交流をする中で、言葉が通じ合った喜びを感じる一方、言葉の壁を痛感する部分が多々ありました。言葉が分からないことによる不安感、孤独感を実感し、通常学校に在籍する外国人児童も同様に、この感情を抱いているのではないかと思います。ファシリテーターとして自らが動くことを通して、参加者が相手の立場になる、考えることができるきっかけをつくりたいという思いが一層強くなりました。



第3回

ピアザ淡海(大津市)

9月10日(土)

紛争問題を抱える国・地域出身者との出会い

【午前】難民・避難民について学ぼう ワークショップ

《講師》(公財)アジア福祉教育財団 難民事業本部関西支部 支部長代行 中尾秀一さん

【午後】内戦や戦争状態にある国から日本で暮らす方たちとの交流

《ゲスト出身国》シリア、スーダン、ミャンマー

感想 ●ゲストのお話から、シリアからトルコへの国境を渡ろうと三度試みたけど二度は捕まってしまったこと、ミャンマーに住む妹さんが二年間教育を受けられていないことを知り、心が痛みました。現地での経験や暮らしの様子など、より詳しくお話を伺いたかったです。

●「自分で何かできないかな」「小さなことでも何か助けになりたい」と思うようになりました。これは自分のなかでとても大きな変化だと思うし、この思いが薄くならないように日頃から情報収集を行っていきたい。



第4回

【午前】滋賀朝鮮初級学校(大津市) 【午後】渡来人歴史館(大津市)

10月15日(土)

日本に根づく韓国朝鮮の歴史と今との出会い

【午前】滋賀朝鮮初級学校 授業見学、校長による講義

【午後】渡来人歴史館 専門員によるガイドツアーおよび講義

感想 ●ルーツで区切らないことも大事だと思う一方で、自分のルーツを大事にしているというのも自然なことと同じく大事だと思った。でも、ヘイトスピーチは絶対に違う!

●歴史を知りたい。今日のことを、家族に話したり、SNSに吐きたい。メディアによる偏った情報などに惑わされずに、自分で考えていこう。

●町から隔絶され日本人との交流がほとんどないブラジル人学校、地域と繋がって教育活動をしている朝鮮学校のコントラストがショッキングにも思えました。ブラジル人学校の生徒が日本人と話したことがないと言っていたのが、ずっと頭に残っています。疎外されることなく、交流し包摂するために何ができるのか、朝鮮学校の取組にヒントを見いだせそうな気もしました。



礼拝見学

宗教的価値観、モスク設立の経緯の説明

日本での暮らしについてなどフリートーク

感想

●「神様ありがたいの気持ちをいつも持っている」という言葉が印象に残った。決して強いられて信仰しているわけではなく、自分の心に従って行動している部分や柔軟な考えを持っておられるところがとても勉強になった。また、食事の面については日本語がわかるようになったからこそ、食べられるものが増えたと教えてくれた方もいた。日本での暮らしがよりよいものになるためにも、言葉などの支援の必要性を実感した。1日を通して、これまで関わることのなかったイスラム教徒の人々のあたたかさを感じることができて大変嬉しかった。



発表会

ピアザ淡海(大津市)

講義 「これからの多文化共生を知る・考える」

《講師》(特活)多文化共生リソースセンター東海 代表理事 土井 佳彦さん

ある調査によると、今のままでは2032年には他の国の賃金水準が上がるなどの理由から、日本へ働きに来る人はいなくなると予想されている。多文化共生を進めていくためには、“人”が大事であり、多文化共生は外国人支援や人手不足の穴埋めではなく、「地域づくり」であるという認識を持つことが重要だ。

Equality(平等)な社会ではなく、Equity(公正)な社会を目指していく。さらに、AかBという選択肢だけでなく、新たなC「New normal(新しい当たり前)」を考えるとよりよい社会が作れるという発想が必要になってくるだろう。多文化共生とは、外国人を支援するためではなく、日本社会が日本人も外国人も一緒に暮らしやすい社会となり、日本に来たいという人が増えるためにお金を使う(投資する)という発想にならないといけないと思う。



グループ発表 連続セミナーでの学びから、今後のアクションプランを発表しよう!

5つのグループに分かれて、連続セミナーでの学びから、これからのアクションプラン(行動計画)を考え、発表しました。



グループから出たアイデアの例

- 地域での理解促進のためのきっかけの場づくり 地域活動への参画 (日本語学習支援、ニュースポーツ交流、料理教室など)
 - SNSで異文化理解のための情報発信 Instagram @shigirls_make_world_peaceful
 - 学校給食と多様性についての検討
 - 国際教育のさらなる取組
 - 韓国朝鮮の歴史と今を知ることから、多文化共生について考える授業の取組など
- これから取り組んでみたいという内容や、現職教員の方からは学んだことを生かした授業の実践報告をされる方もおられました。

今年度の連続セミナーを終えて

今回のセミナー参加者の多くが、「知らないことばかりだった、もっと知る必要がある」、そして「学んだことを伝えていきたい、自分にできることから取り組みたい」と口にしていました。開発教育のワークショップで地球的課題について体験的に学んだり、フィールドワーク先での交流やインタビューの場面で、ブラジルやシリア、スーダン、ミャンマー、朝鮮半島、インドネシア出身の人々とリアルに言葉を交わす経験を重ねることに、知的好奇心が刺激され、受容力が高まり、共感し、「他人事ではなく、自分事」として捉えられるようになってきたのだらうと思います。

今回受講されたみなさんには、内面の変化に留まらず、ますます多様化する地域社会やあらゆる距離が縮まる国際社会において、SDGsのスローガンである「誰一人取り残さない」世界、「すべての人がより良い生活を送れる」社会を共につくるため、これからも学び続け、活躍の場を広げ続けてもらいたいと願っています。

当協会では、今後も学びや活動の機会を提供しながら、次代を担う人材を地域に増やしていきたいと考えています。

今年度の事業について詳しくは、当協会ウェブサイトにて報告書を掲載しておりますのでご覧ください。

<https://www.s-i-a.or.jp/references/851>

News 1 第4回国際交流・協力ライブチャンネル 「一足早くミシガンから Merry Christmas」を開催

日時 2022年12月18日(日) 9:00~10:30 参加者 33名

オンラインでの国際交流イベント、ライブチャンネルを開催しました。今回は滋賀県の姉妹州であるアメリカ・ミシガン州から、現地のクリスマスのおすすめを紹介いただきました。ミシガン州知事のメッセージに始まり、州内各都市のクリスマスイベントのおすすめの紹介や、滋賀にゆかりのある方からの温かいコメント。さらには現地のお宅からライブ中継を行い、クリスマスの時期の過ごし方や、室内のイルミネーションのおすすめをライブ配信していただきました。



▲ポーマンさんの自宅から、県ミシガン駐在員の松原さんが自撮りでライブ中継

参加者からは「ミシガンのクリスマスのおすすめが本当に素敵で雰囲気を楽しむことができた」「ミシガンとの交流が再開したら、ぜひミシガンに行きたい」といった感想が寄せられました。新型コロナウイルスの影響により、2020年からお互いを訪問する友好親善使節団は中断していますが、一日も早く元通りに交流ができるようになってほしいという思いを一層強くするイベントとなりました。

News 2 国際教育ワークショップ 地球市民を地域とともに育てよう part 21 「平和って、なんだろう？ ねこのポーポキと一緒にかんがえよう」を開催

日時 2023年1月7日(土) 10:45~16:45
会場 ビアザ淡海(大津市) 参加者 16名
共催 JICA関西、Glocal net Shiga
講師 神戸大学名誉教授、ポーポキ・ピース・プロジェクト代表 ロニー アレクサンダーさん

ベトナム戦争の時、反戦デモに参加する中学生だったというロニー先生。「平和」の反対語は戦争ではなく「非平和」。つまり「あらゆる暴力がない状態(暴力の不在)」のこと。今世界は暴力化していて、どうしたらよいかモヤモヤしているが、そこから脱出するために、こうした問題を考えるための土台を作ることを目的にワークショップを各地で行っているとのことでした。

絵本の読み聞かせや「平和って、なんだろう？」と五感で考えてみたり、世界の最も深刻な「平和の課題」5つに対して、参加者が感じている自分とその課題との距離をカラーモールの長さで表現し、視覚的に他者の考えを知るアクティビティなどを紹介いただきました。

さいごに、「泣いているポーポキに平和と安心を！」というお題を基に、各グループで5コマの絵を描き、オリジナルストーリーを発表しました。「人間ではなく「ねこのポーポキ」の視点でストーリーを考え、自分の頭の中の世界や視点が変わることではじめて平和へと一歩進むことができる。ぜひ子どもたちが自らのストーリーワールドを描いていく力を養っていただきたい」と締めくくられました。



新JICA滋賀デスク紹介

JICA関西 国際協力推進員(滋賀県担当) 森川 真秀さん
[E-mail] jicadpd-desk-shigaken@jica.go.jp

みなさん、こんにちは！
2023年1月よりJICA滋賀デスクに着任しました、森川真秀(もりかわ まさひで)です！

私は2019年12月からJICA海外協力隊として中米の小国ベリーズに派遣され、小学校のICT教育を中心とした活動を行いました。残念ながらコロナ禍により任期途中での帰国となってしまいましたが、ベリーズでの活動で得た経験等を活かして、滋賀と世界を繋ぐお手伝い出来ればと考えています。

着任してしばらく経ち、活動を進める中で目に入ってくる琵琶湖や山々の景色、人々の温かさ、豊かな文化に早くも魅了されてしまいました。滋賀に住むのは初めてですので、より深く知る為に県内各地に向向いて、皆さんと積極的にコミュニケーションを取っていきたくと考えています。街中で見かけたら気軽に声

を掛けていただけると嬉しいです！

JICA滋賀デスクは(公財)滋賀県国際協会内に配置されておりますので、国際協力についてもっと知りたい、相談したいなどのご要望があればお気軽にご連絡ください。

現在の国際協力は決して一方的に支援するばかりではありません。滋賀から世界へ。世界から滋賀へ。お互いを知り共に成長できるように活動を進めたいと考えておりますので、これからどうぞよろしくお願い致します！



今、この人に **インタビュー**

「Health(健康)はWealth(財産)！」英語で楽しく教えるフィットネスインストラクター

マーク ミラー さん

日本でも、トロントのような多文化社会になりつつあり、この潮流が続いていくことを願っています。多文化はお互いのことを理解し認め合える機会となるからです。



■ALT(外国語指導助手)として日本に来られたということですが、日本を選択されたのはなぜですか？

私の出身はカナダのトロントで、世界一の多文化社会といわれる都市です。その中で育ちましたが、日本文化に興味を持っていました。大学では主専攻の健康科学以外に、追加コースとして日本の歴史と日本文学についても学びました。源氏物語も読みましたよ。来日後、当初は2、3年の滞在のつもりでしたが、日本での生活が楽しく、日本文化が更に好きになりました。私はブレイクダンサーでもあったのですが、日本にいるダンサーたちと一緒に楽しむことも心地よかったですね。その後、日本人のガールフレンドができ、結婚して子どもも生まれ、今に至ります。

■現在は栗東市にお住まいですが、滋賀での暮らしはどうか？故郷のトロントとの違いは感じますか？

滋賀だけに限りませんが、日本にいる人はほとんどが日本人ですよ。トロントは多文化社会なので、色々な国籍の人がいます。そこが大きな違いです。滋賀での暮らしはスローペースで静かで大好きです。トロントは大会場なので生活のペースが早いです。関西でも京都や大阪、神戸はトロントに近い環境だと感じますね。滋賀に来た頃はまだ若く、スローなペースは退屈だと思っていましたが、年齢を重ねると滋賀の自然やこのゆっくりしたペースに価値を見出せるようになりました。これこそが人を健康にする要因ですね。滋賀が健康長寿県なのは、このよ

うな生活と自然環境がすごく大事な要素なのだと思います。コロナ禍では、特に自然と共に過ごす重要性を感じました。

■マークさんは英会話の先生だけでなく、フィットネスインストラクターもされていますが、健康科学を学ぼうとしたのはなぜですか？

健康は人にとって一番大切なものです。どれだけお金持ちでも、健康でなければ人生は有意義なものにはなりません。Health(健康)はWealth(財産)だと思います。健康であれば、英語をもっと勉強しよう、他の言語を勉強しようといったすべての活動のモチベーションにつながります。何をやるにしても、身体を健康に保つことが重要です。

■英会話を教えておられるマークさんは日本人の英語力をどのように感じていますか？

日本人は英会話ができていると思います。ただ、みんな自信が持てないだけです。その原因はアウトプットする機会がなかなかないということですね。アウトプットするには実践の機会が必要です。例えば、車も運転しなければうまくなりません。私が英会話講師としてアドバイスしているのは「間違っても大丈夫、パーフェクトなんてありません。とにかくアウトプットして話しましょう」と伝えています。加えて、未就学といった小さい頃から英語に慣れ親しむことも効果的だと思います。

■日本では外国の方との突然の会話に躊躇する人も多いかと思いますが、英会話を教える中でどのようなことを意識していますか？

3つの点を意識しています。1つ目は、生徒が聞き取りやすいようにゆっくり話すことです。2つ目は、生徒がリラックスして緊張しない雰囲気を作ることです。もし間違いがあっても、「大丈夫!」と声を掛けます。緊張している状態では、インプットもましてアウトプットすることなどできません。そして3つ目は、質問ができるようにすることです。質問は、コミュニケーションには絶対必要です。文法が気になつてなかなか質問できない人もいますが、「単

▲琵琶湖や山々の風景、家族の写真をInstagramにアップしていますが、それを見たトロントの友人が、リラックスしてパケーションを過ごせるような滋賀の風景や生活が羨ましいと言ってくれます。

●プロフィール●

カナダ トロント出身。カナダの大学を卒業後、13年前にALTとして来日。京都、鎌倉での生活を経て、8年前に滋賀に来県。大学でHealth Science(健康科学)を専攻していたこともあり、英語で教えるフィットネスインストラクターとして野洲市国際協会(YIFA)の金曜英語サロン講師を担当。また、企業向けの英会話講師を行う一方で、昨年からヘッド&フットマッサージ事業をスタートさせるなど、多忙な毎日を送っている。

語を並べるだけでも通じるから大丈夫!」と私はアドバイスしています。ネイティブスピーカーが日本人の英語を聞いたとき、「英語が下手だ」とか「何点だ」と採点することは絶対にありません。少しでも話せれば、「日本語に加えて英語も話せる。すごいな!」と思ってもらえますよ。人生はTOEICのようなテストで決まるものではありませんからね。もっと気楽にやってみましょう。

■最後に、マークさんの今後の抱負や目標、そして多文化社会の視点から見た滋賀や日本へのメッセージをお願いします。

まず、昨年から始めたヘッド&フットマッサージの事業をビジネスとして成長させたいというのが、現時点での次の目標ですね。多文化社会と言う点では、滋賀県で生活していても、毎日のように外国人を見かけます。滋賀県でも外国人住民が増え、多文化である環境が日常が増えてきていると感じています。この傾向が、これからも続いていくことを願っています。なぜなら、多文化である社会は、お互いのことを理解する機会や相手を認める機会を与えてくれる社会だからです。

インタビュー通訳協力

小崎 賀津子さん/SIAボランティア



▲「完璧な文でなくても大丈夫、単語だけでもいいからまずはアウトプットしてみよう」と英語で楽しくフィットネスクラスを指導するマークさん

おしえて?世界のこ

テーマ

(日本ではあまり想像できない)
現地ならではの
ハプニングはありますか?

今年の1月、急に降り積もった大雪の影響で、滋賀県内の高速道路で車が立ち往生、JR琵琶湖線では電車が動けなくなることがありました。雪の多い日本ならではの出来事となりましたが、海外では、その気候や環境、文化によって、日本では想像もできない出来事を目の当たりにすることがあります。

世界の国々で生活していると、どのようなハプニングに遭遇するのでしょうか。今回は、現地ならではのハプニング体験について聞いてみました!

■カナダ

エミリー ラモン カルディナルさん
(滋賀県国際交流員)

カナダでは常に動物に会えます。10分散歩すれば、10匹のリスを見かけることも。夏にドライブすると、シカやマーマット(リスの一種)が草原や道沿いにいます。また、春と秋にはカナダガンという渡り鳥が町のあちこちに現れます。強い縄張りの習性があるので、侵入者がいたらただでは帰らせません!うるさく鳴いて威嚇してから襲ってくることもあります。たまに、レストランなどの前にカナダガンがいたら、ドアに「ガンがいるため、しばらく出ないでください」と掲示をすることもあります。

■ブラジル

ギマランイスさん(滋賀県国際交流員)

私の地元であるリオ・デ・ジャネイロ市のバスには、日本のような「次は〇〇に停まります」という案内がありません。そのため、初めて乗ってどこかに行くときは、どのバス停で降りたらいかがかわからないので、運転手さんに「〇〇に着いたら教えてくださいね」とお願いします。ところが、運転手さんも忙しいので、教えることをすっかり忘れてしまったなんてことも、稀にあります!

そう思うと、今はスマホ一つで位置情報がわかるようになって、よかったです!

■セントルシア

山口 咲子さん(JICA 海外協力隊員)

セントルシアはカリブ海に浮かぶ琵琶湖より少し小さい島国です。そのため食品や日用品等を輸入に頼っており、クリスマス休暇明けには野菜などが店頭になく、輸入パセリが1700円で売られていることもありました。他にもハリケーンシーズンには電気・水道が止まることもあります。また協力隊の活動を放牧されている牛に邪魔されるなんてことも。次々起こるハプニングを面白いネタととらえて過ごすことを学びました。

■ドミニカ共和国

林 真理さん(JICA 海外協力隊員)

ドミニカ共和国の人は、生活のあれこれを毎日ちょこちょこ行うより、週に1回まとめて行う?と感じるような習慣があります。例えば、洗濯は週1回、洗髪は美容室で週1回、そして食料品の買い物もまとめ買いの方が多くです。その買い物の様子はいつも二度見してしまう位にカートいっぱい(山盛り)の量にも驚きますが、食べ物と一緒に子供を喜ばせるためにカートに乗せたり、清算前のお菓子を食べさせている親御さんがいることにびっくりします!



■ガボン

桂 武邦さん

(JICA ガボン支所企画調査員)

『お釣りがない!?!』ガボンの首都リーブルヴィルには大型スーパーがあり日常の買い物には困らないのですが、何故かお会計に時間がかかります。それは、慢性的にレジに細かいお釣りが入っていないからです。毎度、レジのお姉さんが小銭を探しにどこかに行ってしまうか、またはレジ横の小さなお菓子を無理やり勧められて解決します。あれは、商品を買わせる作戦なのかも…。



▲「暑い国なので、レジ横のチョコは一度溶けていることも…」

■ルワンダ

飯田 萌さん(JICA 海外協力隊員)



ある日、配属先から戻ると、家の前の小道のベンチに髪の毛の束が…。驚いてじっと見ていると、奥で寝転がっていた女性が笑って起き上がりました。彼女は美容師で、その後客に髪の毛の束をつけていました。これはブレイズヘアやコーンロウと呼ばれ、長いにつけるのに5~6時間かかるようです!美容院もありますが、道端で編み込みをしている人も度々見かけます。ルワンダ人女性は、このようにおしゃれを楽しんでいます。

■アメリカ

松原 勇太さん

(滋賀県ミシガン州経済交流駐在員)

何かトラブルになったわけではないのですが、アメリカで宅配物が受取人に直接手渡しされることは基本的にありません(手渡しは有料オプションだそうです)。荷物をインターホンも鳴らさず玄関の前に置いていくことがほとんどで、それも宅配ドライバーによっては結構遠くから投げています(笑)。

私の査証関係の重要な書類も家の前の地面にポンと置いてありました。



しがウクライナ避難民応援支援金御寄付への御礼と報告

2022年3月22日より募集を開始しましたところ、皆さまよりたくさんの御協力をいただきました。ありがとうございました。

募金総額

16,400,094円(2023年2月末現在)

内訳

- 法人(49件)……10,904,317円
- 個人(125件)……3,851,665円
- 募金箱……1,644,112円

支援について (数字はすべて2023年2月末現在)

- 受入れ状況 / 9組14名
- 支援状況 / 支援内容…日常生活のサポート、各種手続きの補助、生活支援金の支給、言葉のサポート、医療・就労・就学支援、日本語教育支援(子どもの日本語学習を含む) など
- 支給実績…生活支援金 5,100,000円
- 住宅環境整備支援金 1,500,000円



詳しい報告については、HPをご覧ください。

<https://www.s-i-a.or.jp/news/757>

SIA メンバーズ

Members of Shiga Intercultural Association for Globalization

SIAメンバーズ各店より滋賀県国際協会会員の皆さまに会員相互の交流を目指して
会員特典を提供いたしております。特典利用の際は会員証を提示してください。

お店コーナー

神原税理士事務所

日々の帳簿処理、会計や税金について、できるかぎり、お客様の立場でわかりやすくサポートします。とくに海外勤務や英文経理の経験がある税理士が、日本語が苦手な外国人事業者の確定申告や中小外資法人の会計税務にも対応します。



会員特典 相談料無料(何でも気軽に相談ください)

住所: 草津市南草津2丁目3-9
コミュニティ南草津ビルⅢ3F-B
(南草津駅西口より徒歩5分)
電話: 077-599-3480
(電話受付可)

URL: <http://www.kambara-office.com>
営業時間: 9:00~17:00
定休日: 土・日・祝



中華料理 オーパスワン



★おすすめコース

お一人様 3,500円(税込)
◎ご予約は前日までに
◎2名様以上で

★女性限定 レディースコース

お一人様 3,300円(税込)

★6月から

冷やし中華・ジャージャー麺・
冷やし坦々麺始まります!

会員特典 会員証提示でソフトドリンク1杯サービス

住所: 野洲市市三宅2531 アルテールななのい1階
電話&FAX: 077-586-6028
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー 17:30~21:30
(ラストオーダー21:00)

JR野洲駅徒歩5分 駐車場完備
定休日: 水曜日と第1・第3木曜日
※定休日は予告なしで変更になる場合がございます。事前にご確認ください。



西洋料理 ロジェ・ソバージュ

記念のフルコース お一人様 税込み1,650円(昼・夜とも)

(メニュー)

- 冷製オードヴル11種盛合わせ
- 本日のポタージュスープ
- パン
- 魚料理:貝類と菱蟹と真鯛のギリシャの細パスタ包み
- 肉料理:牛肩肉のステーキ グラタン仕立て
- サラダ
- デザート:ケーキ・フルーツ・アイスクリームの盛合わせ
- コーヒー又は紅茶



会員特典 グラスワイン or ソフトドリンク or ノンアルコールビールの
いずれか、お一人様一杯サービス

他のサービスとの併用はできません。

住所: 近江八幡市堀上町99-12
電話: 0748-36-8123
営業時間: ランチ 11:00~14:00
ディナー17:00~21:00
定休日: 不定休



Siam Erawan サヤームエラワン



「微笑みの国・タイ王国」を紹介するサヤームエラワンは、シェフのノイさんが作る本物のタイ料理のご提供や、タイ文化講座の出張開催をしています。タイ料理は夏期のみ営業(ホームページから営業日をご確認ください)タイ文化講座や「マイペンライに学ぶ、ゆる〜く楽な生き方」講座は、ホームページからお問い合わせを。LINE公式アカウント「サヤームエラワン」を登録してくださいね。



会員特典 各種教室料金・飲食代(テイクアウトは除く)5%OFF

住所: 東近江市八日市町11-16
営業時間: ランチ11:30~ 定休日: 日・月曜日
電話: 0748-22-0422 携帯: 090-1131-9344
URL: <https://www.siamerawan2558.com>



ドイツレストラン ヴルツブルク German Restaurant WURZBURG



当レストランは改修工事のため休業しており、2023年4月にリニューアルオープンの予定です。営業再開時期は当店ホームページ(下記URL)でご確認ください。

住所: 大津市由美浜5番地
電話: 077-526-3500 FAX: 077-526-3539
E-mail: info@wurzburg.jp
URL: <https://www.wurzburg.jp>
営業時間:
ランチタイム 11:00~15:30(ラストオーダー 14:30)
ディナータイム 17:00~21:00(ラストオーダー 20:00)
定休日: 不定休



ミシガン州立大学連合日本センター 〈2023 春季 英語プログラム受講生募集〉

【開講期間】
2023年4月4日(火)~6月17日(土) 全10回
【教室】

ミシガン州立大学連合日本センター(彦根市松原町1435-86)
近江八幡教室(近江八幡市鷹飼町454-4 Nビル)

【クラス】

- 一般コース: 初級から上級まで5コース
(1クラス60分・高校生以上対象)
- EBC: バイリンガル小中学生クラス※

会員特典 受講料5%OFF(ご本人のみ)

※お申し込み時にSIA会員であることをお申し出ください。

〈こども英語教室2023も同時募集中〉
(2023年4月4日~2024年3月8日)

住所: 彦根市松原町1435-86
電話: 0749-26-3400 FAX: 0749-24-9356
URL: <https://www.jcmu.net>
E-mail: sifah@mx.bw.dream.jp



各クラスの
詳細はHPを
ご覧ください

SIAメンバーズ



アプルネの オンラインにほんごクラス

しよきゅう、ちゅうきゅう、じょうきゅう。しょうせつ、マンガ、ビジネスにほんごも。げつようび〜どようび。あさ、ひる、よるのクラスも。ZOOMで。もうしこみはメール、HP、インスタ。

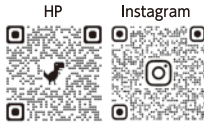


～にほんごクラス PRICE～
グループ・レッスン /

☆オンライン 1かい 75 ふん
いっかげつ 5かい 4,950えん
4かい 3,960えん
(げっしゃ・ぜいこみ)

会員特典 **ねんかいひ3,000えん→2,000えん**

住所：滋賀県大津市打出浜2-1
滋賀県産業支援プラザ コラボしが21内
1階Biz Base コラボ21
URL：https://www.apprenez-langues.com/
E-mail：apprenezlemonde@gmail.com



地球雑貨アース・ヴィレッジ

東南アジアを中心に店主自らが現地へ赴いて仕入れた品々が所狭しと並ぶ民族雑貨店。その土地ならではの自然素材の特徴を活かした手作り雑貨や伝統的な民族楽器など、味わい深い品物を手に取って、地球に息吹く様々な文化や人々の営みを感じてください。



◀ジャンベ・ディジュリドゥーの取り扱い
は国内最大級! 初めての方には演奏方法などレクチャーいたします。

会員特典 **SIA会員証提示で全商品5%OFF**

住所：〒521-1311 近江八幡市安土町下豊浦5096-31

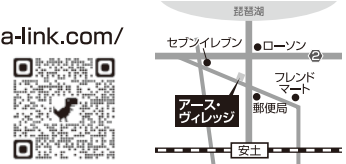
TEL：0748-46-2007

URL：https://www.gaia-link.com/

営業時間：9:00～19:00

定休日：毎週日曜日

※ホームページ内でも
商品の購入が可能です。



トラブルコーナー

会員証を提示いただけますと、割引特典がご利用いただけます。
お申込・お問い合わせの際には滋賀県国際協会の会員であることをお申し出ください。

東武トップツアーズ 滋賀支店

いつの時代も、旅には「安全」と「安心」が求められてきました。旅を愛する、旅を求める、すべての人たちと共に、東武トップツアーズは、新しい旅のあり方を追求してまいります。
私たちは、旅をあきらめずに提供し続けてまいります。

- 会員特典
- 国内パッケージツアー〈FEEL〉 基本旅行代金の5%割引
 - 海外パッケージツアー〈JALPACK〉 基本旅行代金の5%割引

住所：草津市若竹町17-10 KB21 2階
電話：077-565-0109
FAX：077-565-0112
E-mail：
yasutaka_kume@tobutoptours.co.jp
URL：https://www.tobutoptours.co.jp/
営業時間：9:30～17:30
定休日：土・日・祝



琵琶湖汽船 ミシガンクルーズ



びわ湖の南湖を周遊する赤いパドルが目印の外輪船ミシガン。船上からはびわ湖の雄大な景色が望め、船内ではお食事や観光案内、音楽ショーなど充実したクルーズタイムをお過ごしいただけます。また、事前予約制で、におの浜観光港や柳ヶ崎湖畔公園港にも寄港いたします。三井寺や石山寺、比叡山などの周辺観光と合わせしてお気軽にびわ湖遊覧をお楽しみください。



会員特典 **ミシガンクルーズ
乗船料10%引(本人含む5名様迄)**

企画商品・セット商品などは除く
他割引併用不可

※ピアンカまたは、他の船舶が運航する場合がございます。運航ダイヤなど、詳しくはお問い合わせください。

住所：大津市浜大津5丁目1-1
電話：077-524-5000 FAX：077-524-7896
URL：https://www.biwakokisen.co.jp
営業時間：9:00～17:00(予約センター受付時間) 定休日：無休

SIA会員募集のご案内

当協会の活動に対する理解と幅広い参加をいただくために会員を募集しております。
国際交流や多文化共生地域づくりに関心をお持ちの方のご入会をお待ちしております。

会員特典

- 当協会主催イベント参加費の割引
- SIAメンバーズ各店での利用割引、優待等
- 当協会情報誌のお届け
- 県内イベント案内のメルマガ配信
- 国際情報サロン図書等や国旗の貸出サービスあり

SIAサイトはこちら



ホームページ



Facebook

会費・会員情報

- 学生会員 1口年額 **1,000円**
- 個人会員 1口年額 **2,000円**
- 団体会員 1口年額 **10,000円**

[現在の会員数] 2023年2月末日現在

・個人会員/240人 ・団体会員/88団体

[新規入会] 2022年11月1日～2023年2月28日

・個人/9人 ・団体/1団体

ご入会ありがとうございました。

ピアザ淡海1階の パスポートセンターで パスポート申請をされる皆様へ

当協会が実施しておりますパスポート申請用の写真撮影業務については、諸事情により当面の間、休止しています。申請者の皆さまにはご不便をお掛けしますが、パスポート申請の際には写真をご持参の上、パスポートセンターまでお越しください。

